

『聴く』と『話す』

令和4年お正月を迎え、早くも白梅の香るころとなりました。皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年は、コロナ禍で諸行事が出来なくて、さみしい、悔しい思いをいたしました。そんな一年だったからこそ、改めて見直す機会を得たように思います。これからの南浦社会福祉協議会の進め方を気分一新、皆様と共に考えて、福祉の輪を拡げてまいりたいと思います。

皆様が幸せになるためには、一人ひとりの思いを『聴く』ことから始まります。「困ったことはありませんか?」「やりたいことはありますか?」「苦しいことはありませんか?」。役員に遠慮なく話してください。一つ一つ解決して、大きな力にしたいものです。『聴く』とは、耳、目、心を全て相手に傾け、受け止めることとなります。そのうえで、決断することもあります。その皆様の協力も今後ともよりよくお願い申し上げます。

南浦小学校地区社会福祉協議会
会長 小林一郎



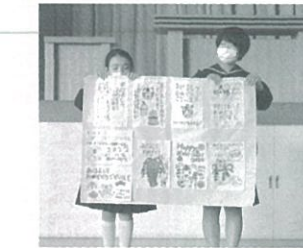
- 〈沿革〉**
- ・南浦自主防災会 会長 平成22年〜令和2年
 - ・南浦小学校地区社会福祉協議会 会長 平成26年〜継続中
 - ・倉敷市立南浦小学校評議員 平成22年〜継続中
 - ・南浦災害対策協議会 会長 平成22年〜令和2年
 - ・南浦自主防災会 会長 平成22年〜令和2年
 - ・南浦小学校地区社会福祉協議会 会長 平成26年〜継続中
 - ・倉敷市立南浦小学校評議員 平成22年〜継続中

昨年11月10日に小林一郎町内会長が倉敷市から住民自治の発展に長年貢献された功績に対して感謝状を授与されました。

これからも健康に留意し地域の発展の為に活躍をお願いいたします。

ふれあいの里

第18号
編集・発行
南浦小学校地区
社会福祉協議会



小学生からのかわいい手づくり年賀状

今年の元旦、年賀状の束の中に、南浦小学校の児童の皆さんからの年賀状が届き、笑顔になられた方々がいらっしゃると思います。

コロナ禍の中、社協の活動は制約されています。初めての試みでしたが、年賀状を通してなら、不安なく三世代交流が出来るのではないかと考えてみました。

校長先生と相談した所、総合学習の取り組みの一つとして、日頃からお世話になっている地域の人達へ感謝の気持ちや伝えるため、児童一人一人がかわい手づくりの年賀状を書いてくれることになりました。

12月20日、年賀状の贈呈式がありました。「南浦のおたすけキッズとして、これからは地元南浦の子として地域の力になっていきたい」との嬉しい言葉をいただきました。

子ども達の年賀状は友愛訪問をさせて頂いている百五十六名の方にお届けしました。

令和3年度 主な年間行事

1 第26回南浦小学校地区社会福祉協議会総会	書面表決
2 第21回三世代ふれあいウオーキング大会	中止
3 第23回三世代交流グラウンドゴルフ大会	中止
4 敬老会	中止
5 第18回高齢者ふれあい会食会	中止
6 健康づくり講演会	中止
7 三世代交流・小学生からの年賀状	12月
8 天満屋ハピータウン買物支援の試運行	1回
9 第18号「ふれあいの里」発行	3月1日

南浦小学校区の住民基本情報

世帯数 381軒	男性 372人	女性 422人	合計 794人	
中学生以下 0~14才 21人	高齢者 65~69才 62人	70~74才 102人	75才以上 261人	合計 425人
高齢化率	65歳以上 425÷794=53.5%(+1.3ポイント)	75歳以上 261÷794=32.9%(+0.5ポイント)	(令和3年12月末現在) 倉敷市のホームページから	
倉敷市の高齢化率(65歳以上)	132963÷479861=27.7%(+0.3ポイント)			

大量の『プラごみ』と大群の『アミエビ』!



白砂青松「日本の美しい海岸景色の表現です。ところが、ここ数年東西の南浦海岸にプラスチックごみなどが打ち寄せられ、ごみの吹き溜まりとなっています。9月に十数人のボランティアが集まり、猛暑の中、汗を流しながらプラごみなどを処分しました。浜が見事よみがえりました。そのご褒美かな?アミエビの大群が南浦海岸に押し寄せ、多くの人が大漁を楽しみました。海水は浄化されてきているのかな?

地球に優しさを!ごみの減量化と分別回収にご協力ください。

10月、小学校プールの浄化のため、児童たちとEM液を入れました。2年続きで水泳ができませんでした。しかし、児童たちは元気いっぱい!早くコロナが収束して、普段の生活が送れる日を願うばかりです。



親子で楽しく料理を!
南浦栄養改善協議会

栄養改善協議会は、親子で栄養委員とふれ合いながら料理をする事により、料理の楽しさ、食べる事の大切さ、健康



康づくりへの意識を高めてもらう活動として、親子料理教室を年に2回開催しています。低学年の時は包丁の使い方、ハラハラする程。保護者の「あ〜!」と言う声も聞こえていました。高学年になると栄養委員顔負けで、できばきと料理が出来る様になりました。憩いの家には楽しく話す声や笑い声がしていました。コロナ感染により料理は出来ても会話は必要最低限に、楽しいはずの食事も黙食となりました。そんな制限された料理教室ですが、いつも参加をしてくださり頑張る姿をしてくる姿は栄養委員活動の励みになります。

これからも子供達の笑顔が見られる様に活動をしていきたいと思います。次回の親子料理教室への参加をお待ちしています。

出張!! のびのび倶楽部を受講

百歳体操の教室に、「くらしき健康福祉プラザ」の講座をお願いし、昨年10月より4か月間、プラザの介護予防事業職員の方々に来てもらいました。健康に関する話(高血圧・認知症予防)を毎回してもらいました。

また運動と脳トレを兼ねたグーパー体操や、転倒予防の運動を毎回楽しく行いました。心身ともに明るい生活が

送れるよう、みんな頑張ってください。今回教えてもらったことも取り入れながら毎週土曜日・10時から西校舎で生き生き体操を続けていきます。あなたの参加をお待ちしています。



防災用備蓄保管庫の設置

本年度、市内の避難所約200か所に防災用備蓄保管庫が設置されました。南浦地区の保管庫は小学校西校舎北の一角にあります。主な物資は、飲食物品(50人の2日間分)・毛布・発電機・投光機・タオル・簡易トイレなどです。保管庫の維持管理は自主防災会が担います。

グローバルな気候変動により日本においても、毎年甚大な自然災害が多発して、尊い命が奪われています。県のハザードマップによると、南浦・岩谷地区は特に土砂災害・高潮・高波に警戒が必要です。自分の命、大切な人の命を守りましょう。

コロナ禍で2年間防災訓練や研修ができていません。しかし、常日頃から防災に対して危機意識をもちましょう。非常時の持出し品をまとめて準備しておくことも大切なことです。安全で安心な日常生活が送れる地域でありますように。

緊急連絡先

事件・事故 110 火事・救急車 119

災害時連絡先

玉島消防署 522-3515 玉島警察署 522-0110
黒崎駐在所 528-0179

災害時届出避難場所

南浦小学校体育館

悪徳商法(オレオレ詐欺等)・多重債務の相談窓口

岡山県消費生活センター 086-226-0999
倉敷市消費生活センター 086-426-3115

民生委員・児童委員

- ・南浦西地区担当 若狭 尚三 ☎528-1110
- ・南浦東地区担当 小林美知子 ☎528-1032
- ・岩谷地区担当 若狭 衣江 ☎528-2503

主任児童委員

- ・若狭 育美 ☎528-1216

私の健康法（ご夫婦編）



若狭 義治さん 88才(中上)

若狭 由子さん 84才

- ①早寝・早起き規則正しい生活。
- ②好き・嫌いせず薄味の食事。
- ③家庭菜園を楽しむ。
- ④月1回のドライブ。神社・温泉めぐり。
- ⑤友人や気の合う人とおしゃべり、食事を楽しむ。
- ⑥持ちつ持たれつお互いに感謝



藤沢 正治さん 85才(西浜中)

- ①歩くの大好き
- ②毎日南浦ぐるり一周で8000歩
- ③12年かけて地球一周達成
- ④病気で薬を飲んだことがない

藤沢 きみえさん 85才

- ①好きな事・楽しい事の毎日
- ②近所の人との交流・会話を楽しむ
- ③杖を使って転ばないようにしている
- ④サスペンスドラマが大好き



藤沢 正昭さん 86才(岩谷)

- ①夫婦で食事はきちんと時間を決めて食べる
- ②竹細工をして展示会等に出品している
- ③野菜・花づくりを楽しんでいる
- ④毎週グランドゴルフに行っていて楽しんでいる

藤沢 福江さん 82才

- ①毎日散歩を20分位している
- ②趣味の編物・お人形作り・ひ孫の服作り
- ③マスク作りをして皆さんに差し上げて喜ばれている

南浦地区社会福祉協議会が買物支援の一つとして会員の募集をお手伝いし、昨年10月11日から南浦地区への販売がスタートいたしました。現在は、約10ヶ所、20名ぐらいの人が利用しています。

移動スーパー「くわん丸」

我が家の近くに「とくし丸」が来ているのを知り、早速買いに行きました。食料品・日用品が沢山積んでありました。お肉や味付けパン、ゼリー等買いました。パンはおいしかったので毎回買っています。

七神社で「健康長寿」の祈願を受けて



七神社で「健康長寿」の祈願を受けて
受賞者代表 天神 藤沢良房

今年の11月15日の新嘗祭にあたりまして、私たち21名に対し神田宮司様には「健康長寿と多幸」の祈願をして頂き、誠にありがとうございます。身が引き締まる思いでございます。又その上に85歳のお祝いの品物まで頂き、重ねてお礼申し上げます。

私達は昭和11年・12年に生まれて以来、昭和・平成・令和と多くの皆様に支えられ80有余年を過ごして参りました。

私事ですが、最近特に物忘れの回数が増えた気がいたします。また気力、体力の衰えに加えて健康面でも不安や悩みを抱えています。9月の始め、熱中症の疑いで救急車にお世話になるという不覚も取りました。

これからはコロナ感染予防や体調には十分気を付けながら、少しでも認知症の進行を遅らせ、健康寿命を伸ばせるよう努めて参りたいと思います。皆様方より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。お礼の挨拶といたします。

かわいいお客さん

倉敷市立南浦小学校
校長 萱嶋淑美



10月のある日のお昼頃、南浦小学校の校庭に可愛いお客さんがやって来ました。そのお客さんとは…。タヌキです。

「校長先生、タヌキらしい動物が運動場にいます！」と、報告を受けた私は、半信半疑で運動場に急行しました。そして、そこにいたのは、やはり、タヌキでした。誰もいない運動場の真ん中を、急ぐこともなく悠然と歩いていました。

タヌキといえば、一年生の国語の教科書に出てくる「たぬぎの糸車」を思い出します。木こりのおかみさんが糸車を回していると、タヌキがやって来ます。このタヌキは、おかみさんの真似をして糸車を回し、おかみさんを喜ばすといったお話です。糸車の動きに合わせて目をクルクルと動かすタヌキのかわいい姿に、私たち読者は魅了されてしまいます。

さて、校庭のこのタヌキはというと、時折立ち止まっては、校舎の方をじっと見ています。琴の音が音楽室から聞こえてくる



と、頭を上げ、目を細めて、まるで聞き入るような動作をしています。琴の音がやむと、今度は、催促するかのように頭を上下に振り出しました。しかし、なかなか琴の音は聞こえてきません。しばらくしてチャイムが鳴りました。なんと、このタヌキ、チャイムが鳴り終わると同時にプールの方向に向かい、走り去ってしまいました。きつと、このタヌキは、子どもたちの琴の音を聞きに南浦小学校にやって来たにちがいない。今も山の中で、子どもたちの様子を見に、里に下りて行くかかと考えているかもしれない。そんなことを考えているととても愉快になってきました。

そういえば、夏の体験発表会の最中にも園庭に珍客が現れました。ウリボウです。子どもたちが勉強している様子が気になって仕方なかったのかもしれません。うれしそうに園庭を走り回っていました。

まるで、日本昔話に出てくるような楽しい光景です。南浦っ子が情操豊かに育っているのは、このような恵まれた環境のおかげと感謝せざるにはいられません。子どもたちの元気な声に誘われて、次はどんなお客さんが来てくれるのか、毎日楽しみにしています。

南浦を東廻りに歩いてみる

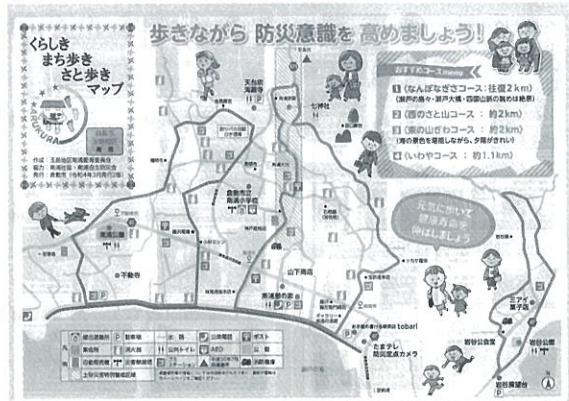
(西浜東) 若狭佳代

12月7日 今年防災マップ作りに取り組んでいる愛育委員と関係者総勢15名西校舎を出発。行きかう人はほとんどいない中、斜面の小さな菜園の手入れをしているお年寄りを見かけた。見慣れた景色ではあるが、次第に空き家荒地地も増え、その上、猪などの出没で畑仕事もままならない。高い所からは南浦が一望できる。お店、病院等生活基盤となる施設（インフラ）は無い。

海岸まで下りてくると、平成16年の台風被害後にできた見上げるようなコンクリートの防潮堤が弓なりに東西一キロに渡って視界を遮る。堤防が上がって眺める。今年にはアミが大漁で、アミを追ってままかりもくる。どこで知ったか近隣からも、アミを目当てに車もやってくる。久しぶりの賑わいだっ

たが、今日はいないのか閑散としている。水辺の鷺や鴨の群れも、変わらぬ穏やかな瀬戸内の冬の光景だ。

この光景からは平成16年（台風16号）は想像できないが、毎年の台風情報に一喜一憂する。我が家に今も残る染みになった襖の一文字の茶色の線が高潮の爪痕。これ



からの防災対策は喫緊の課題だ。万策を尽くして、最小限の被害で済むことを願っている。

4月には防災情報を取り入れたウォーキングマップを皆様にお届けできると思います。歩きながら防災意識を高めて、健康寿命を伸ばしましょう。

買い物支援に向けての協力

社会福祉法人 松園福祉会
あすなる園 園長 中塚裕之

お店が南浦には無いので、週一回でも助かっています。また近所の人との井戸端会議ができて楽しいです。今度の月曜日は何を買おうかなと毎回来しみにしています。いつかはコロナ禍に終わりがくる事を信じ、福寿草を愛でつつ新年を迎えました。

紺屋上 藤沢智恵子



南浦地区社協様からのご依頼で令和2年2月に outreach 支援についての講演をさせていただきました。その後、地域からの声もあり、移動支援を検討することになりました。バス路線との兼ね合いや実現可能なコース設定など様々な事を小地域ケア会議のメンバーの皆様や地区社協役員様と協議してまいりました。その後コロナ禍で実現に向けて難しい状況が続いていましたが、昨年の11月に感染対策を行いながら、あすなる園を出発し岩谷・南浦から鴨方の天満屋ハピータウンへ試験運行を行うことが出来ました。

あすなる園デイサービスセンターの送迎車と運転手が岩谷・南浦のあらかじめ決められた2カ所を回り、乗車していただき佐方を抜けて鴨方へ向かいました。天満屋ハピータウンの方にもご協力いただき駐車場所の確保等行っていました。当日は8名がバスに乗車、その他数名の役員の皆様が現地に集合し、ATM・トイレ・休憩場所など施設内設備や、売り場での買い物時間の確認を行いました。参加した方から運行コースや時間配分は良かった、ベンチや食堂があり休憩もできそう、いろんな商品があり気分転換になったとの感想も聞いております。今後も地域に根ざした社会福祉を行っていきたく思いますので、定期的な運行にむけて試行していきます。